

2021年10月4日

ハイランド「石炭火力発電所建設問題」を考える会  
代表 印田信之様

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。株式会社 JERA の佐々木と申します。

先日、弊社宛に郵送していただいた「横須賀石炭火力発電所建設にかかわる再度の質問」につきまして、現時点でお応えできる範囲となりますが、ご回答申し上げます。

弊社は先般ご回答申し上げた通り、「JERA ゼロエミッション 2050」の実現に向けて、脱炭素に関する技術開発や各種実証などに取り組んでおります。

また、国の「46%削減」目標の表明により、これを前提としたエネルギー基本計画を始めとした政策議論が進んでおりますが、弊社としてもその動向を注視するとともに、国の目標達成に向けて前向きに検討を進めて参りたいと考えております。

「JERA ゼロエミッション 2050」に係る弊社の方針や具体的な取り組みにつきましては、今後も引き続き、弊社ホームページやメディア等を通じて、すべてのステークホルダーの皆様への積極的な発信によりご案内して参りますが、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の助成事業「カーボンリサイクル・次世代火力発電等技術開発／アンモニア混焼火力発電技術研究開発・実証事業」における碧南火力発電所4号機でのアンモニア20%混焼に係る実証試験やアラブ首長国連邦アブダビ首長国におけるクリーン・アンモニア生産事業の事業化可能性調査」におけるクリーン・アンモニア生産事業の調査等を含め、アンモニア混焼技術の確立やアンモニアの製造・輸送・貯蔵・利用といった一連のサプライチェーンの構築に向けた主体的な取り組みを開始しております。

なお、横須賀石炭火力発電所におけるアンモニア混焼につきましては、碧南火力発電所の実証試験の結果等を踏まえ、検討して参ります。また、経済産業省の試算についてのコメント出来る立場にはありませんが、弊社は自ら脱炭素技術の開発を進め、経済合理性の確保に向けて主体的に取り組んで参ります。

このたびは貴会からのご要望をいただいたところではありますが、上記について何とぞご理解のうえ、引き続き、弊社事業へのご支援・ご助言をいただければ幸甚です。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

JERA 佐々木 拝